

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

温度計測機能/日の出・日の入り時刻表示

984

取扱説明書

984

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございました。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご購入のゆきまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR	30BAR
洗顔、雨	○	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○	○
スキダイビング (素潜り)	×	×	○	○	○

- 専門的な潜水スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
- 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

- バンド
- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
 - 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。
 - 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。
 - 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
 - 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

- お手入れのしかた
- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。● 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

- お手入れを怠ると
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

- 温度
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
 - 直射日光が長く当たったり、高温になるところに放置しないでください。また、超低温に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
 - +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
 - 低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻れば、ボタンは正常に作動します。
 - 低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

- ショック
- 腕につけたままでもトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には支障ありません。
 - 腕につけたまま激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には支障ありません。(ただし、ガラス部分をぶつけることはお避けください。)

- 磁気
- 磁気の影響はありません。
 - 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

- 保管
- 長期間ご利用にならないときは、汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

- 電池交換について
- 最初の電池
- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。● モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
 - 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

- 消耗
- 電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」止まったりします。
 - 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
 - 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
 - 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
 - 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

- 電池交換

- 液晶パネルの交換について
- 液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。(押すごとに確認音が鳴ります。)
※各モードでその機能を使用した後、◎ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。
※表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。

時刻モード

＜カレンダー表示＞

＜温度表示＞

● デイライトグラフ表示
1日のうち、日の出・日の入り時刻をもとにして太陽の出ている時間をグラフ表示します。

日の出・日の入りモード

ストップウォッチモード

温度リコールモード

アラームモード

秒の合わせ方・・・30秒以内の遅れ進みの修正

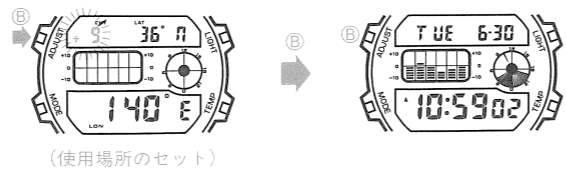
月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

- 時刻モード(カレンダー表示)のときに、◎ボタンを1回押して時刻セットモードにします。
- 2時報に合わせて、▲ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

3 秒合わせが終わりましたら、◎ボタンを続けて2回押すと時刻モードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

- 時刻モード(カレンダー表示)で◎ボタンを1回押して時刻セットモードにします。
- ◎ボタンを押します。時刻セットモードのとき、◎ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、◎ボタンでセットしたい箇所を選びます。



※12/24時間制表示切り替え
秒・時・分のいずれかのセットのときに①ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。
※年は西暦で1990年~2029年までセットできます。

- 点滅箇所が▲ボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

◎ボタンでセットしたい箇所を選び、▲ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注)「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。
注) サマータイム(DST)に切り替えるときは、時差のセットも合わせてセットしてください。

- セットが終わったら(どの箇所が点滅していても)、◎ボタンを続けて2回押すと点滅が止まり、セット完了です。※カレンダーを変更した後、◎ボタンを2回押して時刻モードに戻すと、日の出・日の入り時刻を計算する計算表示となります。
- 時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻モード(カレンダー表示)に戻ります。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

日の出・日の入り時刻の見方

日の出・日の入りモードで、任意の日の日の出・日の入り時刻を見ることができます。また、日の出・日の入り時刻をもとにして太陽の出ている時間のグラフ表示(デイライトグラフ表示)も行ないます。

＜ご注意＞
本機の日の出・日の入り時刻は使用場所の緯度・経度・時差をセットしませんが正しく表示されません。ご使用時には、「使用場所のセット」をよくお読みになり、各セットを行なってください。なお本機は、工場出荷時に「東京(GMT+9.140° E.36° N)」のデータがセットされており、また、本取扱説明書の例題もすべて使用場所を「東京」としています。ご使用場所によっては表示内容が異なりますので、ご理解の上操作を行なってください。

日の出・日の入り時刻の見方

- 時刻モードのときに◎ボタンを押すと、日の出・日の入りモードになります。→今日(カレンダーで表示されている日)の日の出・日の入り時刻を表示します。
- 日の出・日の入りモードのとき、▲ボタンを押すごとに日付が1日ずつ進み、①ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。(日付順送り表示機能) ※押し続けると早送りできます。

→日付を指定して▲または①ボタンから手を離すと、約15秒間の計算表示の後、その日付の日の出・日の入り時刻を表示します。

- 日の出・日の入り時刻を見終わりましたら、◎ボタンを押すと、時刻モードに戻ります。

＜参考＞

- 日の出・日の入りとは 本機で言う「日の出・日の入り」とは海拔0mにおける水平面での時刻で、海拔高度や地形により多少の誤差ができます。一般に高度が高くなるほど日の出は早くなり、日の入りは遅くなります。
- 日の出・日の入り時刻の計算 日の出・日の入り時刻は日付による均時差(実際の太陽と平均的な太陽とのずれ)と視赤緯(季節によりかわる太陽高度)、場所によるGMTとの時差と緯度・経度により決まります。本機では、これらのデータを簡略化した推算式により概算していますので、地域によっては多少の誤差がでることがあります。
- 日の出・日の入り時刻の予測誤差：低~中緯度・約5分以内 高緯度・約5~10分以内

■使用場所のセット(緯度・経度・時差のセット)

本機では日の出・日の入り時刻を計算するために緯度と経度および世界標準時を基準とした時差をあらかじめセットする方式を採用しています。セットは一度行えば再びする必要はありませんが、旅行や引越しなどで大きく移動した場合はその場所の緯度・経度(海外のときは時差)をセットしなおしてください。※現在お住いの場所の緯度・経度につきましては、巻末にあります「日本の緯度・経度」またはお手もとの地図を参照してください。

● 緯度・経度・時差のセット
1 時刻モード(カレンダー表示)のときに◎ボタンを続けて2回押すと時差のセットとなります。

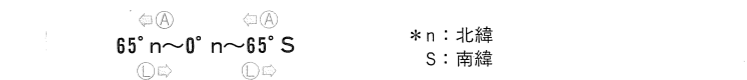
- このとき▲ボタンを押すごとに時差が1つずつ進み、①ボタンを押すごとに時差が1つずつ戻ります。● ▲・①ボタンを押し続けると早送りができます。● ▲あるいは①ボタンを押してお住いの時差を表示させます。日本の時差は+9時間ですので、日本で合わせるときは「+9」とします。● その他の国で時差を合わせるときは「時差と緯度・経度」の表を参照してください。● サマータイム(DST: Daylight Saving Time)を採用している場合は、通常の時差に+1時間した時差をセットしてください。

- 時差のセットが終わりましたら、◎ボタンを押すと経度のセットとなります。経度は①ボタンまたは▲ボタンを押すごとに以下の順に表示しますので、経度を表示させます。



● ▲・①ボタンとも押し続けると早送りができます。● 緯度・経度のセットは1度(1')単位ですので、その間(分単位)は1度単位に丸めてセットしてください。● 例: 50° 40' は51°とセットする。● 日本国内の緯度・経度については、「日本の緯度・経度」を参照してください。

- 経度のセットが終わりましたら、◎ボタンを押すと緯度のセットとなります。緯度は①ボタンまたは▲ボタンを押すごとに以下の順に表示しますので、緯度を表示させます。



- 時差・経度・緯度のセットが終わりましたら◎ボタンを押すと点滅が止まり、時刻モードに戻ります。● 時差・経度・緯度を変更した後、◎ボタンを押して時刻モードに戻すと、内部計算が行なわれ、計算表示となります。

● セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻モードの表示に戻ります。

